

2015年2月13日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

移動式水素ステーション、日本初のリースの取組みについて

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：川村 嘉則）は、豊田通商株式会社、岩谷産業株式会社および大陽日酸株式会社が共同出資、設立した合同会社日本移動式水素ステーションサービス向けに移動式水素ステーション計5台のリースを取り組みます。リース対象は、同社による日本初の商業用移動式水素ステーションであり、移動式水素ステーションのリース契約としても日本初のケースとなります。

水素は、製造方法が多様で地球温暖化に効果のあるクリーンなエネルギーとして実用化が進められてきました。昨年の政府による水素・燃料電池戦略ロードマップの発表を受け、本年は水素社会の構築が始まる水素エネルギー元年とも言われます。中でも、水素エネルギーによる燃料電池自動車が発売となり、水素ステーションも広く普及していくことが期待されます。

三井住友ファイナンス&リース株式会社は、リース事業を通じて環境型社会の実現に貢献できるように今後とも取り組んでまいります。

以上